



聖隸三方原病院

開設者／社会福祉法人聖隸福祉事業団
所在地／〒433-8558 浜松市中央区三方原町3453
URL／<https://www.seirei.or.jp/mikatahara/>



病床数 934床

医師数 203名

指導医数 135名

臨床経験7年以上で研修医の教育に携わっている指導医数



入院患者／日 670.2名

外来患者／日 945.2名

救急医療／日 34.7名

院長
山本貴道

診療科目

標榜科目33科(診療科目40科)

内、精、神内、呼内、消内、循、小、外、整外、脳外、
呼外、心外、皮、泌尿、産、婦、眼、耳、リハ、放、
麻、感染・リウ、腎内、肝内、救急、形外、放治、
病理、臨床、血内、緩和、消外、歯

理念
・
特色

当院は934床の静岡県下最大規模の病床を有しています。

浜松の中心からは少し離れた郊外型の病院ですが、浜松市北部の山間地域を含む広域をカバーする「地域医療支援病院」として日々の診療を行なっています。

ドクターへりを有する高度救命救急センターをはじめ、災害拠点病院にも指定されており、超急性期医療に力を注いできました。

また、ハイブリッド手術室、ロボット支援手術（ダ・ヴィンチ、Makoシステム）などの先進的な医療の導入と並行して、外傷センターなどの各センターを整備し、重症患者への対応をさらに発展させるために努力しています。

その一方で、精神科104床、結核20床、ホスピス27床、リハビリテーション科29床、重症心身障害児(者)病床170床や全国的にも数少ない基幹型の浜松市認知症疾患医療センターなどの地域や時代から求められる医療にも積極的に取り組んでいます。

【専門医制度について】

専門医制度において、当院では内科・外科・小児科・救急科・精神科・麻酔科・泌尿器科・総合診療の「8領域」の基幹施設としてプログラムを用意しています。初期研修から継続し、豊富な症例数のもと、充実した研修を行える環境を整えています。また『基本19領域のほとんどの領域において連携施設』として参加しています。

今後、「整形外科（基本領域）」や「集中治療（サブスペシャルティ領域）」における基幹施設として認定を受ける予定であり、多様な専門医を目指せる環境を提供できるよう努めています。

待遇

身分	初期研修医（聖隸三方原病院 正職員）			
給与	1年次 基本給／月	311,400円（※）	2年次 基本給／月	358,800円（※）
	1年次 賞与／年	—	2年次 賞与／年	—
	諸手当	※超過勤務手当、日当直手当、住宅手当、通勤手当、扶養手当 等を含まず 超過勤務手当、日当直手当の目安（/月）▶1年次：201,000円、2年次：223,000円 ※学会出張の補助制度あり		
	1年次基準支給額／年	約6,200,000円	2年次基準支給額／年	約7,000,000円
宿舎	病院所有物件または賃貸住宅	当直	5回程度	
保険	健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険 加入、医師賠償責任保険加入義務有（※一部半額補助制度有）			

臨床研修医(初期研修医)の研修プログラム

- プログラム名 聖隸三方原病院 臨床研修プログラム
●募集定員 17名(予定)(令和6年度採用数 17名)※募集定員の増員を静岡県に申請中です
●協力型病院 聖隸淡路病院、聖隸浜松病院 順天堂大学医学部附属静岡病院
●協力施設 浜松市国民健康保険佐久間病院
医療法人徳洲会 沖永良部徳洲会病院

プログラムの特色

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次スケジュール	総診	内科	内科	内科	外科	小児科	小児科	救急科	救急科	産婦人科	麻酔科	精神科
2年次スケジュール	総診	内科	救急科	地域医療	選択①	選択②	選択③	選択④	選択⑤	選択⑥	選択⑦	選択⑧

- 必須内科は次の4科を2年間でローテート（総合診療内科、消化器内科、呼吸器内科、循環器科）
- 1年次の外科は次の5科から1科選択研修（外科・整形外科・呼吸器外科・脳神経外科・心臓血管外科）
- 外科は4週→8週相当の研修期間へ変更可能
- 小児科は、1年次に8週相当の研修期間としER当直での研修医ファーストタッチにも対応できる研修を実施
- 精神科研修も含め、地域医療研修以外はすべて院内で研修可能
- 外来研修は院内では主に総合診療内科等にて実施
- 地域医療研修は次の病院から選択（聖隸淡路病院、佐久間病院、沖永良部徳洲会病院）

【研修医からのメッセージ】

現在当院では2年目15人、1年目16人の31人（2024年度）で研修を行っています。

研修医の出身大学は北は北海道、南は福岡と日本全国から研修医が集まっており、日々良い刺激を受けています。

私自身、静岡県に縁もゆかりもありませんが、この病院に魅かれ、医師としてのスタート地点としてこの病院を選びました。

私や同期の研修医が魅力を感じた点は以下の3点です。

①病院の雰囲気が良い!

研修医同士の仲が良い

医師に限らずコメディカルスタッフとの関係性がとても良好で診療科間、部門間での衝突や軋轢がない

研修医に処置をさせてくれる場面も多く、病院全体で研修医を育てようとする雰囲気をはっきり感じる

直近10年間で研修医の途中離脱は“0”

②研修環境、支援体制が充実している!!

指導医が優しく、熱心

メンター制度（院内呼称：ブライザー制度）があり、頼れる先輩医師がいる

診療から完全に開放されて学べる学習の機会「レジデントデイ」がある

臨床研修センターが手厚く研修を支援してくれる

当直明けは1日休みになっている

③ドクターヘリやホスピスをはじめとした特徴ある研修ができる!!!

救急科でドクターヘリ搭乗研修ができる

緩和ケアに興味を持っている人にとっては日本で初めてできたホスピス病棟があるのは魅力的

高度救命救急センターとして精神科救急の診療をしている

学会発表や論文化の指導実績が豊富 ▶2024年4月～12月で25学会、延べ39名が発表。うち7名が受賞

当直でのファーストタッチを通じて自分の知識や技術の向上を日々実感できる

応募手続

応募資格	2026年卒業見込み、もしくは既卒の者で医師臨床研修マッチングに参加する者		
必要書類	専用エントリーシート(当院HPよりダウンロード)・成績証明書・CBT		
募集締切	各試験日の10日前までに郵送にて必要書類を提出（予定）		
選考方法	面接 ※詳細はホームページにて確認してください。		
選考時期	2025年7～8月実施予定(4～5回)		
応募連絡先	担当課	臨床研修センター	担当者 安間・大岩
	T E L	053-439-1381	F A X 053-439-1382
	E-mail	mk-kensyu@sis.seirei.or.jp	